

2011年度協定校留学近況報告書

記 入 日	2011年 11月 20日
留 学 先 大 学	厦門大学
留 学 先 での 所 属 学 部 等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している（以下に学部等名を記入） ※学部等名（日本語）：文学部，（現地言語での名称）：人文学院 <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している。 <input type="checkbox"/> その他：
留 学 期 間	2011年9月－2012年7月
明 治 大 学 での 所 属	文学部史学地理学科アジア史専攻 / ____研究科____専攻
学 年 (出 発 時 本 学 での 学 年)	学部3年生 / 研究科 <input type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程 年生

I. 出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。

私は出発する以前に一度、厦門大学に足を運び、現地にいる日本人留学生の人と話し、学校の様子や現地の様子を伺った。しておいて良かったことは、厦門大学に留学中の日本人と連絡を取り、分からないことや聞きたいことを聞ける環境を整えたこと。準備不足だったことは、厦門大学での授業システムを理解しないで出発してしまったこと。なぜなら私の場合、本科と語学の両方を履修しようとして行ったものの、到着してから本科のみの対応になってしまい、語学の授業を取るための交渉が大変だったから。

II-1. 留学のための渡航前手続き(留学ビザ) ※詳細に記入して下さい

ビザの種類：Xビザ	申請先：東京
ビザ取得所要日数：5日 (申請してから何日/週間要したか)	ビザ取得費用：3000円

ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか？また、どのように手配しましたか？

- ・ パスポート
- ・ 証明写真1枚(3×4cm)
- ・ 留学先の入学通知書の原本及びコピー
- ・ 《JW201》表、あるいは《JW202》表（“招聘状”の俗称）の原本及びコピー
- ・ 健康診断記録（日中友好医院或いは国公立病院にて受けたものに限る）の原本及びコピー
- ・ 記入済み《査証申請表》中国大使館のホームページからダウンロードができる。

具体的な申し込み手順を教えてください。

六本木にある中国大使館に行き、申し込み書と番号の紙をもらい、番号を呼ばれたら指定された書類をすべて提出した。提出の際、すべての書類をコピーし、コピーと原本の両方を提出する。後は取りに行く日にちを教えてくれるので、その日に3000円を一階の券売機のところで払い、控え書を3階のビザ受け取りカウンターに持っていき、ビザ付きのパスポートをもらう。

ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接のあった方は、どのような質問を受けましたか？

なし

ビザ取得に関して困った点・注意点

特になし

II-2. 留学のための渡航前手続き(その他の事前準備について)

その他済ませておくべき準備があればお書き下さい（現地での現金調達準備、携帯電話購入、荷物運送など）

III. 現地到着後のながれ

1. 到着時の様子

利用航空会社	ANA
--------	-----

航空券手配方法	イーツアーという格安チケットサイトで一ヶ月 FIX の往復チケットを購入し、帰りのチケットを破棄するかたちでチケットを購入した。 ※利用した旅行社・旅行サイト、格安航空券情報等があれば記入して下さい。				
大学最寄空港名	高崎国際空港	現地到着時刻	13:15		
キャンパスへの移動手段	<input type="checkbox"/> 大学手配 の出迎え	<input type="checkbox"/> 知人の 出迎え	<input type="checkbox"/> 公共交通機関 (<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車)	<input checked="" type="checkbox"/> タクシー	<input type="checkbox"/> その他
移動の所要時間	30分				
空港からキャンパスへの移動の際の注意点, タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方, 料金等 タクシーの料金は毎回、昼間はおかかった料金プラス人民元1元を足して支払う必要がある。夜はプラス2元。					
大学到着日	9月8日 15時頃				
2. 住居について					
到着後すぐに住居 入居できましたか?	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	いいえを選んだ方： 月 日から入居可能だった。			
住居のタイプ	<input type="checkbox"/> 寮	<input type="checkbox"/> アパート	<input checked="" type="checkbox"/> その他 (マンション)		
部屋の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 一人部屋	<input type="checkbox"/> 二人部屋	<input type="checkbox"/> その他 ()		
ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生	<input type="checkbox"/> 他国からの留学生	<input type="checkbox"/> その他 ()		
住居を探した方法	<input type="checkbox"/> 大学の斡旋	<input type="checkbox"/> 自分で探した	<input checked="" type="checkbox"/> その他 (現地の知人に頼んで部屋をみてもらった)		
住居の申込み手順					
住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか？トラブルはありましたか？ すぐに見つかった。しかし、行く前に聞いた時の家賃以外にいろいろと手数料を取られたことや、ネット回線が別払いであることを後から聞かされ、居住設備について細かく聞かなかったことが後々トラブルの原因になった。もし学校の寮ではないところに住むのであれば、できたら自分の目で確かめて部屋を探した方がよい。					
3. 留学先でのオリエンテーションについて					
オリエンテーションの有無	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった				
日程	9月13日				
参加必須ですか?	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 <input type="checkbox"/> 任意参加				
参加費用は?	<input checked="" type="checkbox"/> 無料 <input type="checkbox"/> 有料 (金額:)				
内容の様子は?	学校の単位認定や中国のビザ申告の申し込み方について				
留学生用 特別がダンス	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった				
授業開始日	9月17日から				
IV. その他、渡航してから必要な手続きについて					
1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか？いつ、どこで、方法は？日数、料金は？トラブルは？					
現地についてから、もう一度ビザを申請し直す必要がある。その際にもし学校の寮以外のところに住んでいるのであれば、警察署にいて居住許可書を発行する必要がある。居住許可書の料金はかからなかった。健康診断の結果表、パスポートのコピー《JW201》表、あるいは《JW202》表（“招聘状”の俗称）の原本及びコピー、証明写真、居住許可書、寮以外のところに住むのであれば、住む家の大家または管理人の同意書、契約書、大家または管理人の身分証明書が必要。私の場合大学外に住んでいるので、このような書類が必要だった。もし学校の寮だと提出書類がまた違うので、新生入申し込みの日にもらう書類の中にある滞在許可書の申し込み方法という紙に書いてあることに従って書類を集めれば大丈夫。まわりの留学生も同じ時期に申し込みするので、もし分からないことがあれば、聞けばすぐに対応してくれる。滞在許可書の申請に中国ドル400元かかった。					

No.	コース名／教授名	時間数／週	留学先での単位数
1	東南アジア人社会史 / 陈衍德教授	1	2
この授業は東南アジア華僑史という授業である。学生数は一クラス 100 名～130 名。毎回授業が始まる 5 分前に先生が出欠席を取る。板書はほとんどないので、集中して聞き取りノートを作る必要がある。レジュメを厦門大学のホームページにある個人ページに載せてくれるので、事前に予習することもできる。また関連参考文献も紹介してくれる。毎回授業が終わる 10 分前に質疑応答の時間がある。進んで質問がない時は指名されるので、常に問題に対して考えや質問内容を考えておく必要がある。グループディスカッションの時間もある。これは不定期に行われるもので、いくつかのグループをつくりグループワークを行う。その成果を発表する。試験はレポートまたは筆記試験。			
2	植物考古学/葛威教授	1	2
植物考古学の授業は選択必修の授業である。生徒の人数は 20 名前後。毎回 PPT で授業を行う。先生の話すスピードが速いので、ついていくのが大変。時々、レジュメをくばってくれる。また植物考古学の実験も行う。授業で話したことを実際にやってみこともある。参考文献の紹介もある。試験方法はまだ発表されていないので、分からない。			
3	中国語文法クラス/周轶先生	3	2
中国語文法クラスは単語や文法を中心とした授業である。生徒数は一クラス 15 人。レベルによってかたよりがある。下のクラスほど生徒数は多い。また長い文章を読む。予習したほうが授業に追いつきやすい。宿題もほぼ毎日ある。提出する必要がある。また時にはテーマを与えられ、作文を作ることもある。試験は 5 課に一度試験がある。問題はそれなりに難しい。また問題数が多いので時間が足りない。			
4	中国語会話クラス/刘小斌先生	2	2
会話クラスは基本プレゼンテーションがメインである。教科書の内容を解説した後に、自分の国ではどうなのかについて一人 3-5 分のプレゼンを行う。その際に PPT を作成する必要がある。試験もすべてプレゼン。先生は発表と PPT の内容で成績を評価するので、PPT も作れるようにする必要がある。クラスの雰囲気はよく生徒数は 20 名くらい。宿題はないがプレゼンの用意が宿題のようなものである。			
5	中国語新聞読解クラス/董飒先生	1	2
この授業は選択科目である。中国語中級レベルの新聞記事を読む。クラスの人気は 8 名。最近中国で話題になっている記事を取り上げる。余裕が有るときは実際に新聞を読み自分の好きな記事を切り取りその内容と自分の意見、感想を書くということもある。宿題はほぼ毎日である。文法や新しい単語を使った練習問題である。予習は新しい課の単語と内容を見とくこと。試験はまだ行っていないので、どういう形式かは分からない。			
6	中国語リスニングクラス/谢秋萍先生	1	2
リスニングの授業は最初新しい単語や文法を説明され、次にその日に扱う文章の内容を 10 分くらい授業内で予習する。それから、一度内容を全部聞き、二度目は一段落目をもう一度聞き、それから内容読解の問題を解く。その後二段落目に内容を聞き、内容読解の問題を解く。リスニングの内容は意外に難しい。また、自分の意見を文章で書くこともある。試験は以前に教科書でやった部分と新しい内容のところの二部から構成されている。以前にやったところは復習する必要がある。クラスの生徒数は 10 人くらい。先生はとても説明が丁寧で分かりやすい。			

VI. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください。

	月	火	水	木	金	土	日
7:00							
8:00							
9:00							
10:00					東南アジア華僑史 (本科の授業)		
11:00							
12:00							
13:00	中国語会話 クラス (語学クラス)	中国語新聞読解 クラス (語学クラス)	中国語会話 クラス (語学クラス)	中国語文法クラス (語学クラス)	中国語リスニング クラス (語学クラス)		
14:00							
15:00	植物考古学 (本科の授業)	中国語文法クラス (語学クラス)					
16:00							
17:00							
18:00							
19:00							
20:00							
21:00							
22:00							
23:00							
24:00							

VII. 現在までの感想

留学先大学、プログラムについて、授業、宿舎、生活全般についてなど、自由に書いてください。

厦門に着いてから宿舎に入るまでは全く問題はなく、管理人の人もとても親切な人だった。私の場合、学校の外に自分でマンションを借りたので、学校の寮がどのようなものなのかは分からない。しかし、寮に住んでいる友達に聞くと、だいたいみな宿舎にすぐ入れるか心配だったようで、一日分だけホテルを予約したという友達がたくさんいた。

寮は基本二人部屋で、どの部屋になるかはあらかじめ決まっている。寮の雰囲気は良く、たくさんの留学生とふれ合うことができる。語学班の教室も寮のすぐ近くなのでとても便利。

授業はすごく楽しく、レベルが上がるにつれ内容も難しくなっていく。先生もとても親切で分かりやすく説明してくれる。本科の授業は基本的に難しい。内容というよりも中国語に追いつくのが大変。しかし、先生や中国人の友達がいろいろと助けてくれるので、難しいながらも頑張って授業に参加している。

また授業以外にも、厦門大学では留学生向けのプログラムや行事を多々行っている。例えば、外文カラオケ大会、泰国水灯節ミスコンなど中国人と交流できる行事を行ったり、各国の独特な文化行事を行っている。このような行事は日本の大学ではあまりないので、とても意味のあるものだと感じた。私は厦門大学に来てから、このような行事のほとんどに参加した。色々な行事に参加することで語学力が伸びるだけではなく、中国や他の国の人と交流ができ新たな発見ができてとてもよかった。

中国に来て一番悩んだことは食である。日本とは違い食べ物がものすごく油っぽいので、最初の時は肌が荒れたりお腹をこわすこともたびたびあった。しかし、おいしいものがたくさんあるので、色々ためしてみるのもおもしろい。

天気は比較的温かく、11月でもまだ半袖が着られるくらいだ。しかし、夜になると海風が吹き少し肌寒い。厦門に来て3ヶ月が経とうとしているが、私はここの生活にも慣れ、毎日とても充実した日々を送っている。厦門の人は優しく日本から来た私たち留学生を温かく迎えてくれる。毎日、お店や道ばたで会う人達と交わす会話もとても楽しく、今は学校以外でもたくさんの楽しみを見つけた。この先の留学生活も勉強はもちろん、日本では経験できないことがたくさんやっていきたいと思う。毎日が楽しく、厦門大学に留学できてとてもよかった。